

# ボンネットプロテクター（ノーズ側） 取付要領書

車名：ランドクルーザー 70系 | 年式：23.11- | 適合：ALL |

このたびは、ジャオスの商品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本書は「ボンネットプロテクター」の取り付けについて記載してあります。

商品を取り付けるまえに必ずお読みいただき、正しく取り付けを行ってください。

商品の取り付けには危険を伴う場合がございますので、専門知識を有する自動車用品販売店または自動車整備工場での取り付けを推奨します。



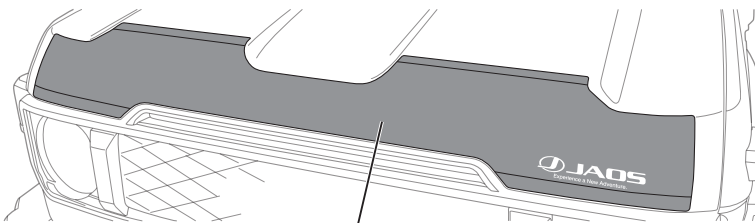
商品の取り付け完了後、本書を必ずお客さまにお渡しください。



取付参考時間：約0.5～1.0時間

## 構成部品

※商品を取り付けるまえに商品の状態（破損の有無）をご確認ください



ボンネットプロテクター（ノーズ側）

| 品名                | 数量 |
|-------------------|----|
| ボンネットプロテクター（ノーズ側） | 1  |



アドバイス

気温・室温が低い環境では接着力が著しく低下するおそれがあるため、ドライヤーでボンネットを温めてから貼り付け作業を行ってください。

貼り付け時に空気が入ってしまった場合は、スキージを使用して必ず空気を抜き圧着してください。

## 取り付けに必要な道具

☐ はさみ ☐ カッターナイフ ☐ ドライヤー ☐ スキージ ☐ 養生テープ ☐ 保護具（手袋、ゴーグル）

## 取り扱いおよび使用上の注意事項

- 製品の保管については直射日光や高温多湿となる環境下を避け、30℃以下で保管してください。
- 輸送の都合上、製品を丸めた状態で梱包しているため、巻きぐせやプロテクターの離型フィルムにシワや浮きが発生場合がありますが、製品自体に問題はありません。
- 凹凸がある特殊なシートにロゴを印刷しているため、にじんだりかすれたりしている場合がありますが、製品自体に問題はありません。
- 作業をするまえに貼り付け面の油脂や汚れを、脱脂剤などを使用して完全に除去してください。
- 貼り付け作業をする際は直射日光や炎天下を避け、気温・室温が20℃（±5℃）の適温で行ってください。また、走行後のボンネットは高温になっているため、完全に冷めたことを確かめてから作業を行ってください。
- 本製品は「乾式貼り専用設計」です。水貼りは絶対にしないでください。
- 粘着剤（接着面）に皮脂や溶剤が付着すると製品本来の性能が著しく低下するため、取り扱いに注意してください。
- スキージを使用する場合は誤ってボディや製品にキズがつかないように十分注意してください。
- 貼り付け直後は接着力が不安定なため、車両の移動による強い振動や風圧に注意し、力を加えたり洗車や雨による水がかからないようにしてください。20℃（±5℃）の適温で24時間放置することを推奨します。
- 高圧洗浄機は絶対に使用しないでください。製品自体やロゴがはがれるおそれがあります。
- カッターナイフを使用する際は、ケガを防ぐため必ず保護具（手袋、ゴーグル）を着用してください。
- 膨れが発生した場合は先端が「0.2 mm」の針をフィルムの膨れに刺し、内部の空気を出してください。その際、針の先端がボディ塗装面に当たらないよう斜めにするなど注意してください。
- 製品表面に汚れが付着した場合は放置せず、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。そのままにしておくとシミや変色の原因となります。
- ワックスなどのケミカル製品および溶剤が付着すると、シミや膨れ、変色が発生する原因となります。誤って付着した場合は、すぐに拭き取ってください。

# 取り扱い上のご注意

## この取付要領書で使用している表示の意味と内容

-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、生命の危険または重大な障害を負う可能性がある内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、事故による障害を負う可能性または物的損害が想定する内容を示しています。
-  **アドバイス** この表示は効率よく作業を行うために知っていただきたい内容を示しています。

商品は改良のため仕様および形状などを予告なく変更することがあります

## 取り付け作業を行うまえに

-  **警告** ●取り付ける車両の安全を確認・確保してください。
-  **注意** ●取付要領書を必ずお読みください。

## 安全に作業を行うために

-  **注意** ●純正部品の脱着は当該車両の修理書にしたがい作業を行ってください。
- 製品は丁寧に扱ってください。
- 作業に適した服装で作業を行ってください。

## 取り付けについて

-  **注意** ●取り付け後には必ず取り付け確認と走行テストを行ってください。

## 使用上の注意事項

-  **注意** ●定期的な点検を行ってください。
- 薬品などの付着に注意してください。

## 中古品の売買および譲渡や廃棄について

-  **注意** ●同じ商品でも販売時期や仕様変更などにより内容が異なる場合があります。
  - 商品や付属品が正確に判別することができない場合、お問い合わせに対しての回答内容は保証いたしかねますのでご了承ください。
  - 商品に不具合が生じている場合はお買い求めの販売店や弊社にご相談ください。
-  **アドバイス** ●商品の破棄は専門家に相談してください。

## 保証について

- 初期不良の保証…お届けから1週間以内  
商品の破損、不具合などトラブルがあった場合、初期不良の保証対象として修理、代品交換、返品を承ります。
- 製品保証…弊社オリジナル商品をご購入より1年間 ※ただし、期間内でも走行距離20,000kmまで  
初期不良に該当する場合や一部消耗品を除き、購入履歴をお調べし規定に従い保証いたします。

 保証についての詳細はJAOSオフィシャルサイトをご参照ください。【保証について】 [www.jaos.co.jp/support/policy](http://www.jaos.co.jp/support/policy) ▶

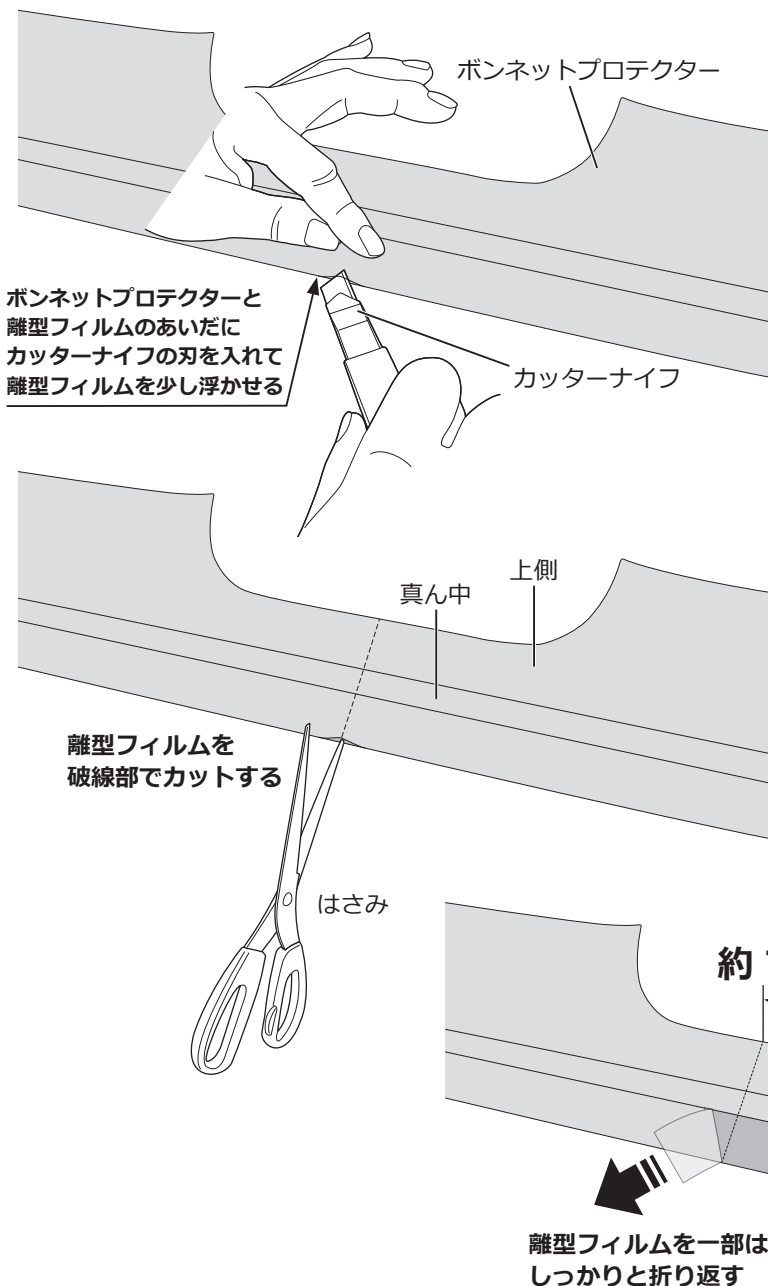


## 取付要領

※図中や文中の○数字は構成部品のナンバー ●数字は作業の順番を示しています

### 1. 貼り付け準備

ボンネットプロテクター：ウラ側中央部



□ボンネットプロテクターと離型フィルムのあいだにカッターナイフの刃を入れて、離型フィルムを少し浮かせます。

**⚠ 注意** 加工部周辺をキズつけたりケガをしないよう十分に注意して作業を行ってください。

**👉 アドバイス** 離型フィルムは少し浮かせた状態で維持してください。

□浮かせた離型フィルムとボンネットプロテクターのあいだにはさみを入れ、離型フィルムを破線部でカットします。

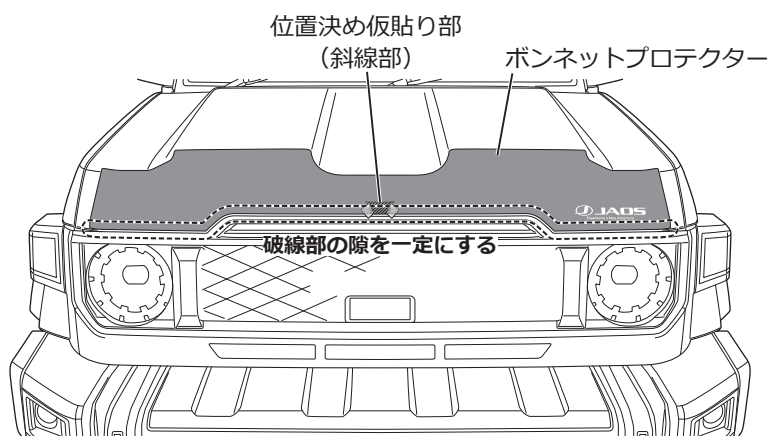
□同じ作業を繰り返し、真ん中と上側の離型フィルムも破線部でカットします。

□カットした離型フィルムを図のように一部はがしてしっかり折り返し、貼り付け時に引き抜けるよう準備します。

**⚠ 注意** 接着面に手が触れないように注意してください。接着面が汚れると接着力の低下や浮きの原因になります。

**👉 アドバイス** 離型フィルムの折り返し点は、中心部から「約 70 mm」を目安にしてください。露出する接着面が広すぎると位置決めが難しくなります。

### 2. 貼り付け手順



**👉 アドバイス** 本商品の取り付け作業は2名以上で行うことを推奨します。

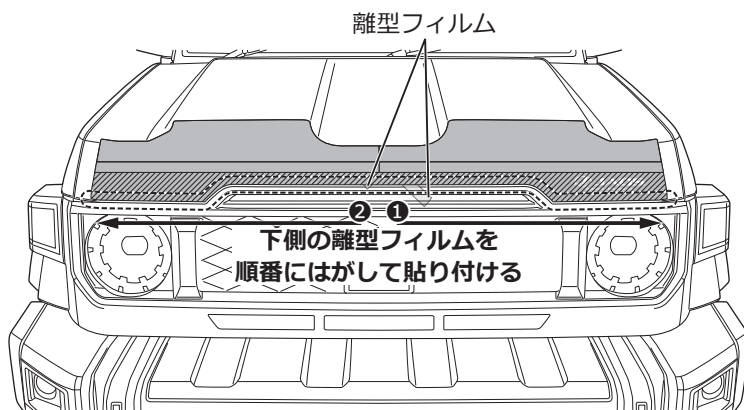
□作業をはじめるまえにボンネットの表面を清掃・脱脂しキレイにします。

**⚠ 注意** ボンネットの表面に水が残った状態でボンネットプロテクターを貼ると、熱で浮きやはがれの原因になるため注意してください。

□図を参照し、ボンネットにボンネットプロテクターを配置し、前後左右のバランスを整えます。

**👉 アドバイス** ボンネット下側破線部の隙を必ず一定にし、貼り付け位置を決めてください。

□位置が決まったら中央の接着面（斜線部）を貼り付け、位置がずれないように仮固定します。



□下側の離型フィルム（斜線部）①を少しずつ引き抜きながらはがし、破線部の隙を一定に保ちながら固定した位置がずれないようにボンネットに貼り付けます。



**注意**

ボンネットプロテクター①の貼り付け位置が、ずれないように注意してください。

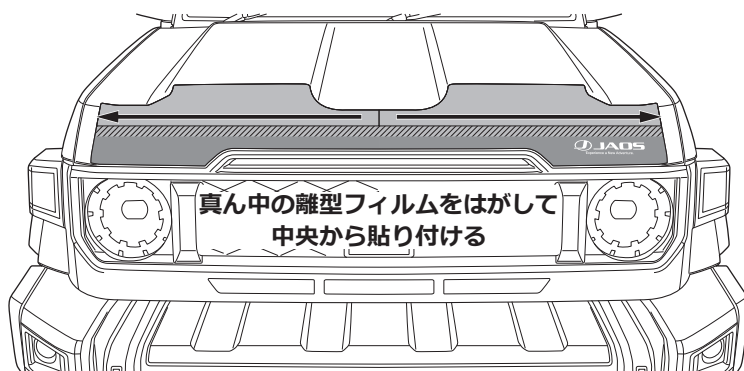
ボンネットプロテクターの表面は紙やすりのように目が粗くなっているため、ケガに注意して作業を行ってください。



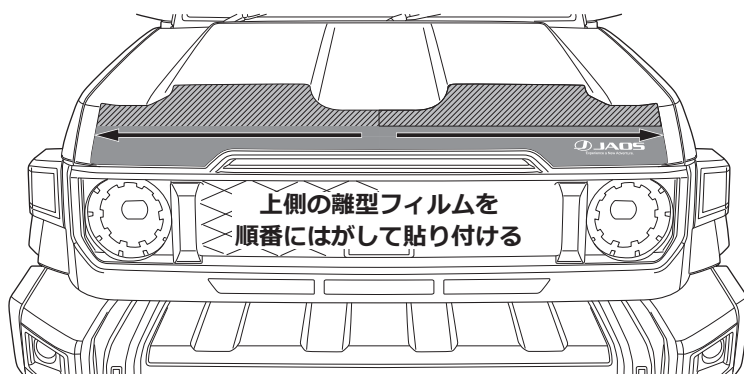
**アドバイス**

貼り付け時は、貼る方向の端部を軽い力で少し引っ張り、空気を中心から外側へ抜くように手を前後（手前と奥）に滑らせながら貼り付けるときれいに仕上がります。

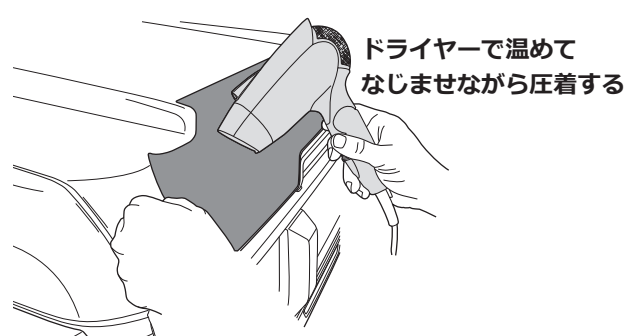
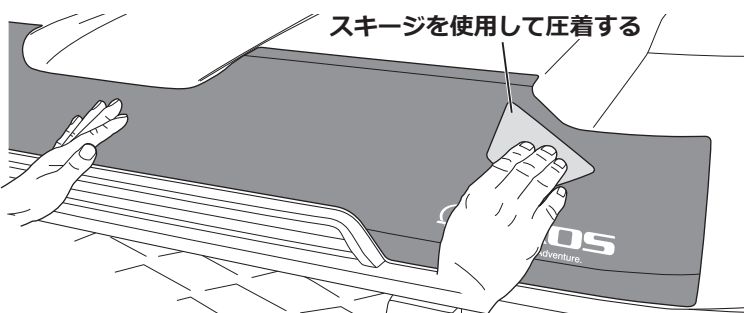
□同じように反対側の離型フィルム②を少しずつ引き抜きながらはがし、ボンネットに貼り付けます。



□真ん中の離型フィルム（斜線部）を少しずつ引き抜きながらはがし、ボンネットに貼り付けます。



□上側の離型フィルム（斜線部）を少しずつ引き抜きながらはがし、ボンネットに貼り付けます。



**注意**

ボンネットプロテクター①の両サイドはボンネットの形状が複雑な曲面になっているため、念入りに圧着してください。

## 貼り付け状態の確認



**注意**

作業後は必ず貼り付け状態を確かめてください。貼り付け直後は車両の移動による強い振動や風圧に注意し、力を加えたり洗車や雨による水がかからないようにしてください。